
急性期看護論 I

服部園美 教授
池田敬子 准教授
寒川友起子 講師
丸岡朋子 講師
川井美緒 助教

2 年次後期・必修

1 単位・30 時間

【概要・目標】

急性期疾患あるいは慢性疾患の急性増悪や手術などにより、急性経過を経る疾患を有する人に対して緊急時に求められる看護について学び、必要なケア技術を習得する。

1. 急性の健康障害をもつ成人の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、援助方法を学修する。
 2. 急性期にある高齢者の健康状態の変化を理解し、それに応じた看護を学修する。
-

【授業内容のスケジュール】

(担当)

- 1)～2) 急性期の状況にある人の特徴と理解
池田・寒川・川井
(1)クリティカルな状態にある患者の看護
(2)ストレス・コーピング理論、危機理論と援助
 - 3)～9) 急性期の状況にある成人患者の看護援助
(3) 易感染性状態の患者に対する看護援助
(4) 虚血性心疾患(心筋梗塞)患者の看護
(5) 脳血管障害患者の看護
(6) ICU 入室患者の看護
(7)～(9) 周術期にある患者の特徴とその看護
 - 10) 高齢者の急性期の特徴とその看護
服部・丸岡
 - 11) 薬物療法を受ける高齢者の看護
 - 12) 検査・手術療法を受ける高齢者への看護
 - 13) 14) 高齢者の事故および急変・救急時の看護
 - 15) せん妄状態にある高齢者の看護
-

【評価】

成人看護・高齢者看護：定期試験（90%）、受講態度（10%）をもとに評価する。

場合によってはレポートを学期内に課すこともある。

評価責任者：服部園美教授

【教科書】

雄西智恵美編；成人看護学「周手術期看護論」第3版ニューヴェルヒロカワ

池松裕子編；成人看護学「急性期看護論」ニューヴェルヒロカワ

野崎真奈美；成人看護学「成人看護技術」最新版 南江堂

【推薦参考図書】

百瀬由美子編集；老年看護学「概論と看護の実践」第6班 ニューヴェルヒロカワ
